

全国教研 in 新潟

第66次教育研究全国集会が2月3日～5日の3日間で、新潟県で開かれました。ニュースで大雪に見舞われる新潟が話題になっていましたが、雨により多くの雪が解け、穏やかな天候が3日間続きました。

集会には、全国から1万人を超える参加者があり、湘南教組からも正会員を含めた20名が参加しました。24分科会に全国から多くのレポートが集まり、熱い論議が各分科会で繰り広げられました。



初日の記念講演には法政大学教授の山口二郎さんが、「民主主義と政治教育」という演題で、現状の日本の経済や政治の状況と、それがどのように教育に関わっているのか、私たちが今後、気を付けなければいけない視点について聞くことができました。また今後、経済格差が今まで以上に広がり、日本が貧困大国になりつつある現状を再認識しました。私たちができることは、ほんの小さなことかもしれませんが、多くの情報に踊らされることなく、しっかりと現実を見つめ、考え続けることが大切であると感じました。

特別分科会では、「子どもフォーラム」として子どもの活動発表とシンポジウムが企画されました。活動発表では、約500年前から柏崎市女谷地域に伝承され、重要無形文化財に指定されている「綾子舞」を高校生が演舞しました。さらに、中学生が長岡空襲について調べ、平和と地域の人々の思い、ふるさとの大切さを学び自分たちで作り上げた平和劇がDVDで上映されました。シンポジウムには、活動発表した代表者を含む、中学生、高校生、大学生が参加し、「あなたにとってたいせつなもの」をテーマに、学校のこと、

復興のことについて意見を出し合い、学校の暮らしの中で大切なものとは何かについて話し合われました。

それぞれの分科会では、多忙な日常にもかかわらず、多くの教職員が実践してきたことが発表されました。どの実践も、目の前の子どもたちのために何ができると必死に考え、苦労してきたこと、工夫してきたことが発表されました。

それぞれの地域で、組合の組織状況の違いや労働環境や職場状況の違いに驚くことも多々ありました。しかし、どのような状況においても、教職員が目の前の子どもと真摯に向き合っていることを強く感じ、私たちも頑張りを続けてはいけなと、心が引き締まる思いがしました。

第66次のテーマは「平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立」でした。この集会で多くの参加者が感じたことが、それぞれの都道府県に持ち帰られ、広げられることが民主教育を確立していくことの一步だと感じています。



2017 スノボ★ツアー ★スキー・スノボ IN サンメドウズ清里



帰りのバスレク、楽しかったです。お風呂ではお湯の温度が高かったけれど、色々な方と笑ったり、話したりすることができました！

初心者でも楽しめる素敵なツアーでした。執行部の方々のホットな雰囲気や、全員が参加したなあと、感じられる一体感もありました！！さらにお土産まであって・・・最高でした。

こんなにお得な値段で、連れて行っていただき、満足感120%のツアーでした。本当に楽しいひと時でした。温泉にも浸かったので、他地域の方との交流も新鮮でした！

初めて参加しました。スノーボードをしたり、お風呂に入ったりする中で、他の学校の方ともお話することができました。



1月14日（土）に日帰りのスキースノボツアーを開催しました。例年好評で、今年はおかげさまで45名もの参加があり、たくさんの組合員と楽しい時間を過ごすことができました。

明け方の暗い時間からバスに乗り込み、高速を走ること数時間で目的地「サンメドウズ清里スキー場」に到着しました。

スキーやスノボのレンタルがスムーズにいかず、皆さんを少し待たせてしまい心苦しかったのですが、その後はゲレンデでスキースノボを満喫してもらえたようで、担当としても安心しました。また、初めてスノボをする参加者もいて、執

行委員の開くスノボ教室も好評でした。職場仲間の新たな一面と出会った参加者も多かったようです。

滑走終了後は、バスで旅館に向かい、雪山で冷えた体をお風呂で温めました。温めたというより、ちょっと熱すぎて我慢大会のようでしたが、そんな思わぬアクシデントで会話が弾みました。お風呂の後のバスレクでは湘南教組クイズ&抽選会を行いました。3択クイズでしたが意外とひっきり、問題作成者としては、ちょっと嬉しかったです。

この企画は、学校、市町の枠を超えた組合員、あるいは職場の仲間との交流を深めることを目的として行っています。同じ思いで働く者同士、つながるところはたくさんあると思います。今回のツアーが「確かあの時…」と、またどこかでつながりを作る機会になってもらえると嬉しく感じますし、仲間と楽しい気分が1日を過ごしていただけたら幸いです。人との絆や人脈は、人生の宝物です。忙しい毎日ではありますが、今回このツアーで同じ時間を過ごした縁を大事にしていきたいと思います。ご参加ありがとうございました。



湘南教組旗開き

1月12日(木)に湘南教組旗開きを開催しました。
旗開きとは、労働組合などが1年間の運動を始めるにあたって、組織が団結するための会のことです。

今年の旗開きも来賓、組合員合わせて300人以上の参加があり、盛大に行うことができました。

来賓には、藤沢市の鈴木市長、吉田教育長をはじめ、三市一町の行政、教育関係者、労働組合、労働福祉団体、組織出身議員を含む各級議員のみなさんなど、60人を超える参加があり、湘南教組が私たちだけでとりくみをしているのではなく、様々な人々、団体と連携、協力して運動を進めていることを参加者のみなさんに感じていただけたことと思います。

多くの来賓からあいさつをいただく中で、今年4月に鎌倉市議会議員選挙立候補予定の竹田ゆかり鎌倉市議からは「教職員の声を市政へという気持ちを新たに、今年もがんばります。」という力強いメッセージをいただきました。

毎年恒例の福引き抽選会では、ろうきん、明治安田生命など、景品を提供してくださった団体の皆様にも抽選に加わっていただき、楽しい抽選会となりました。最後は、佐藤執行委員長と各専門部長による「団結がんばろう」で無事に会を閉めくることができました。

教育課題が山積する今だからこそ、私たち教職員組合の結束力が問われています。多くの若手組合員が増える中で、執行部一同、運動の継承をしっかりと行っていきたいと思っています。あらためて今年もよろしくお願いいたします。



県PTA協議会湘南ブロック懇話会

1月20日(金)、鎌倉生涯学習センターにて、県PTA協議会湘南ブロック懇話会が開催され、保護者、教職員が5~6人のグループとなり、忌憚のない意見交換を行いました。

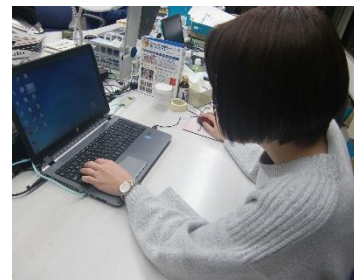
年度始めの役員決めが上手くいかないことや、PTA本部役員とPTA担当教職員以外のつながりがなかなか広がりにくいことなど、課題が出ました。一方、子どもたちの成人のお祝いの際には、共に当時の思い出を語り合い、喜び合えた経験は宝物だった、という声も聞かれました。日頃のあいさつや声かけからつながりを築いていく中で、保護者と教職員が互いの立場の理解や感情の共有をすすめていくことで、子どもたちの課題に対して共に向き合えるのではないかと、そうした温かな関係性の中で、子どもたちを育てていきたい、育てていきましょう、という思いをそれぞれのグループで共有することができました。

子どもを取り巻く環境が複雑化する中で、引き続きこうした機会を通して、保護者、教職員の連携を大切にしていきたいと思っています。



執行部のつぶやき

執行部になって、もうすぐ一年が経とうとしています。今でも、私が執行部になる日が来るとは…と驚くことがあります。私は他市から異動してきて2年くらいで執行部になったので、湘南教組についても市内の学校についても、知識はほとんどありませんでした。異動したてのときに、「“オルグ”があります。」と分会長から聞いたとき、“オルグって何??” “執行部の人って誰??” と思ったのを覚えています。執行部の人が他校の分会員だとは思いません、「組合の人が来たんだなあ…」と感謝の気持ちすらもっていない私でした。今思うと、「いつもありがとうございます！」と笑顔で声をかければよかったと後悔しています。



今年度、担任ではない立場から学校を見たとき、今までとは違う子どもたちや教職員の姿が見えました。執行部として、世の中のことや教育現場の現状を知り、視野が広がったとき、今までとは違う視点を持つことができました。「それは、誰のため？」本当の意味で子どもたちのためになること、教職員のためになることをしっかりと立ち止まって考えようとしている自分がいます。少し成長することができた一年になりました。

執行部と学校と家庭の三点セットの生活で、疲弊すること多々ありますが、温かく見守ってくれる人たちに支えられています。3歳の娘の「ママ～！おしごと がんばってね。フレ～フレ～おっしりフレ～！！」（プリプリとおしりを振って応援してくれます☆）の応援で、今日も頑張っています♪

産休・育休者応援セミナー

1月28日（土）、産休・育休応援セミナーを女性部との共催で行いました。当日は、三市一町から女性14名の参加がありました。

まず妊娠・出産にあたって、取得できる権利や給与について説明しました。その中で、育児短期時間制度、妊娠体免、産休・育休中の手当（期末手当、育児休業手当、児童手当、住居手当）などについて情報交換したり、質疑応答をしたりしました。次に保育施設等について話をしました。待機児童が多い中での入園の困難さ、認可外保育園の保育料の高さなどが話題になりました。

今回のセミナーは、1時間半の時間を確保していましたが、それでは時間が足りないほどでした。産休を取得予定の方と現在育休中の方がいたため、育休をとるときの注意事項や心構えなどを共有でき、とても有意義な時間となりました。また、保活（保育園活動）中の方、産休・育休経験者の方の体験談もあり、育児の大変さや課題を再確認する場にもなりました。

セミナーを終えて、気持ちよく出産に臨める職場での雰囲気づくりやフォローアップ、育休からスムーズに職場に復帰するための環境づくり、育休中の方同士のつながりの大切さなどを改めて感じる機会となりました。次回は男性の参加、ご夫婦での参加もお待ちしております。

今後も、湘南教組として、産休・育休を取得する方が安心して権利を行使し、よりよい勤務条件の中で仕事ができるように、声をあげていきたいと思います。



青年委員会企画

Yokohama Night Cruise

～船上で素敵な出会いを～



●今回の募集要項

参加対象：素敵な出会いを求めている方！

「日頃から忙しくてなかなか素敵な人と出会えない…」多忙で自分の大切な時間が取れない方へ湘南教組の青年委員会が企画しました。横浜みなとみらいの素敵な夜景を海から眺め、ちょっと贅沢な美味しい料理とお酒で楽しい時間を過ごしましょう！

- 設定日：**3月18日(土)** 18:00出港～20:00帰港予定 横浜港周辺クルーズ
- 集合場所：横浜みなとみらい ピア赤レンガ桟橋
- 参加費：8,000円

募集期間：2月3日(金)～3月1日(水) 18:00

**詳細は2月3日にお配りした用紙をご参照ください！*